



PREP TEXT / 予習テキスト

AI協働開発ハンズオン講座 情報系 第1回 予習テキスト

AI協働開発ハンズオン講座 情報系トラック 第1回

当日の前に10分ほどで読める量にしてあります。やることの順番と、当日いきなり出てくる言葉を先に知っておくと、スライドと手元の画面を行き来するときに迷いにくくなります。読まずに参加しても当日の進行で困ることはありません。

目次

この日にすること
当日までにお願いすること
画面の名前
先に知っておくと楽な言葉
スライドとハンズオンガイドの使い分け

この日にすること

第1回は、Copilot で作って直す日です。ゴールは3つあります。

ゴール	中身
VSCodeでCopilotが応答する	貸与PCのVSCodeで、日本語で質問して日本語で返るところまで確かめます。全員ここはそろえます
Ask・Agent・Plan を使い分けられる	聞くだけ、書き換えさせる、先に計画だけ出させる、の3つを選び、差分を読んでから Keep します
既存のアプリに機能を足せる	配布のアプリを先に読ませてから、絞り込みと合計を足します。動かなければ、戻して頼み直します

最後に規約ファイルを置いて帰ります。第2回のテストは、この日に足した機能が対象です。

時間帯	やること	分数
午前	環境セットアップ（VSCode・GitHubアカウント・Copilotの招待・疎通確認）	[100min]
午前	AI駆動開発の世界	[30min]
午後	Copilotの基本操作と、客先情報の丸め方・プロンプトの型	[95min]
午後	仕様5行から動くWebアプリ	[60min]
午後	既存アプリへの機能追加	[75min]
午後	モデルの使い分けと規約ファイル、振り返り	[90min]

昼休憩は AI駆動開発の世界 のあとです。午後はブロックの間に[10min]の休憩が3回入ります。

当日までにお願いすること

- 配布物のZIPを教材サイトから受け取り、デスクトップに展開しておきます。Windows用とMac用があるので、お使いの端末に合う方を使います
- VSCode が起動することを確認めます。ヘルプのバージョン情報で 1.116 以降なら、Copilot Chat が最初から入っています
- GitHub から招待メールが届いたら、会社のメールアドレスでアカウントを作り、招待の承諾まで済ませます。手順は教材サイトの 事前の準備 にあります

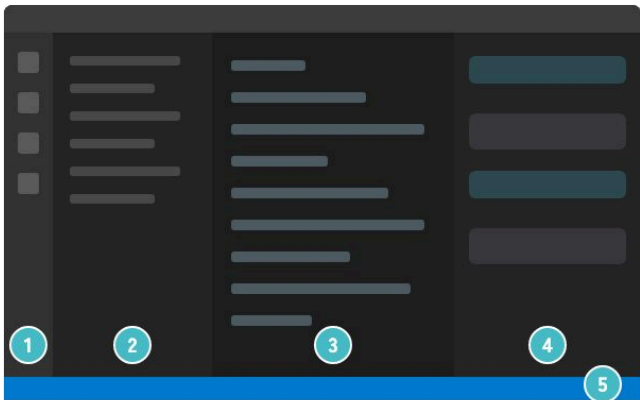
アカウントの準備が間に合わなかった場合は、当日の午前と一緒にいきます。そのまま参加してください。

画面の名前

当日のスライドは、VSCodeの画面をこの5つの名前で呼びます。とくにエクスプローラー、エディタ、チャットパネルの3つは何度も出てきます。

VSCodeの画面の名前

今日出てくる画面の名前は、この5か所だけです



- 1 アクティビティバー**
左端の縦並びのアイコン。今日はいちばん上のエクスプローラーと、チャットのアイコンだけ使います。
- 2 エクスプローラー**
開いているフォルダの中身。ここに tpro-work の中のファイルが並びます。
- 3 エディタ**
中央。コードを書く場所です。補完の候補は、ここに薄いグレーの文字で出ます。
- 4 チャットパネル**
右側。今日の主役です。サインインもここから始めます。
- 5 ステータスバー**
最下段。今開いているファイルの言語が出ます。補完が出ないときはここを見ます。

Copyright © Giverty, Inc. All rights reserved

12

第1回のスライド 12ページ VSCodeの画面の名前

作業の場所はデスクトップの `tpro-work` フォルダに決まっています。配布ZIPはこの中に展開し、この日に作るファイルもすべてこの中に置きます。

先に知っておくと楽な言葉

9月の受講者から、Keep や Ask・Agent・Plan がいきなり出てきて戸惑ったという声がありました。第1回の午後に画面で扱いますが、言葉だけ先に並べておきます。

言葉	意味
Ask	チャットの入力欄の下で選ぶロールの1つ。聞くだけで、ファイルは変わりません。中身を聞く、説明させる、案を比べるときに使います
Agent	ファイルの作成と書き換えまでするロール。どのファイルを開いて直すかまでAIが決めます。書き換えは Keep するまで確定しません
Plan	作業の計画と手順だけを出すロール。ファイルは変わりません。大きな変更の前に段取りを確かめるときに使います
Keep / Undo	Agent が出した差分を受け入れる操作と、戻す操作。Keep は、その行を自分が書いたと認める操作です
差分	AIの提案による変更前と変更後の違い。読んでから Keep すると、ファイルに書き込まれます
インライン補完	入力の途中で灰色で候補が出る機能
スラッシュコマンド	入力欄で / から始めて呼び出す、定型の指示
copilot-instructions.md	Copilotが毎回読む前置きを書くファイル。.github フォルダに置きます
AGENTS.md	AIに読ませる事実だけを書くファイル
丸める	固有の情報を業界や工程のレベルまで抽象化して書くこと

Ask ・ Agent ・ Plan

頼む前に、ファイルを変えさせるかどうかを選びます

ロール	何が返るか	ファイル	使いどころ
Ask	文章とコード片	変わらない	中身を聞く、説明させる、案を比べる
Agent	ファイルの作成と書き換え、差分	Keep するまで確定しない	作る、直す、足す
Plan	作業の計画と手順だけ	変わらない	大きな変更の前に、段取りを先に確かめる

Agent の差分は Keep で受け入れ、Undo で戻します。Keep は自分が書いたと認める操作です

頼み方は、役割・文脈・制約・出力形式の4つで組み立てます。このうち結果を大きく変えるのは制約と出力形式で、送る前に「制約と出力形式を書いたか」だけを自問すれば足ります。

スライドとハンズオンガイドの使い分け

講師が画面共有するスライドは、説明から演習、確認の順に1方向で進みます。演習の手順は、教材サイトのハンズオンガイド（PDF）にも同じものがあります。スライドが先へ進んでも、手元ではガイドの該当する演習を開けば続きを追えます。ガイドの2ページ目の目次から、演習へ直接飛べます。

手が止まったら、5分粘っても直らない時点で Zoom のチャットに書いてください。講師から個別チャットで返します。



株式会社ギブリー（Givery, Inc.） 本資料の二次転載を禁止します。